

TY 型(部分圧入方式)

[運転のしくみ] ※自動交互運転の説明です。

- 1)水栓を開くと、圧力タンク①の空気圧により送水逆止弁⑬送水口⑦を通り、圧力タンク①内の水が送水されます。
- 2)水位が下がりますと、圧力タンク①内の圧力が低下し、設定された圧力迄下がりますと圧力スイッチ⑩が作動し、給水ポンプが運転を開始します。
- 3)給水ポンプ P1 又は P2 が始動しますと、その揚水はその一部分が圧入管③空気補給槽④圧入逆止弁⑥を通り、圧力タンク①に入りますが、そのほとんどは給水管②給水逆止弁⑦を通り、水栓に直送されます。
- 4) 圧力タンク①内の水位が上がりますと、内圧が上昇しますので、設定された圧力で圧力スイッチ⑩が作動し、給水ポンプは停止します。
- 5)水の使用により再度圧力タンク①の圧力が下がりますと圧力スイッチ⑩が作動し、給水ポンプが運転を開始します。
- 6)以後 3)、4)と同様の運転を行い、給水ポンプは停止します。
- 7)以上の動作を繰り返し、給水ポンプ P1・P2 は自動的に交互運転を行います。

[空気補給のしくみ]

- 1) 圧力タンク①内の水位が上限電極⑪に達しますと、給水ポンプ P1 又は P2 が停止するごとに排水電動弁⑨が開いて、空気補給槽④の水を排水します。
- 2)排水によって、大気が吸気弁⑤より空気補給槽④に入り、一定時間後排水電動弁⑨は閉じます。
- 3)給水ポンプ P1 又は P2 が起動しますと、揚水は給水管②空気補給槽④を通り空気補給槽④の空気を圧入逆止弁⑥を通して、圧力タンク①内に押し込みます。
- 4)この動作をポンプの発停ごとに繰り返し行えば、圧力タンク①内の水位は順次降下します。
- 5)水位が下限電極⑫以下になりますと、排水電動弁⑨は動作しなくなります。従って、再び圧力タンク①内の水位が上限電極⑪に達する迄、空気補給は行われません。

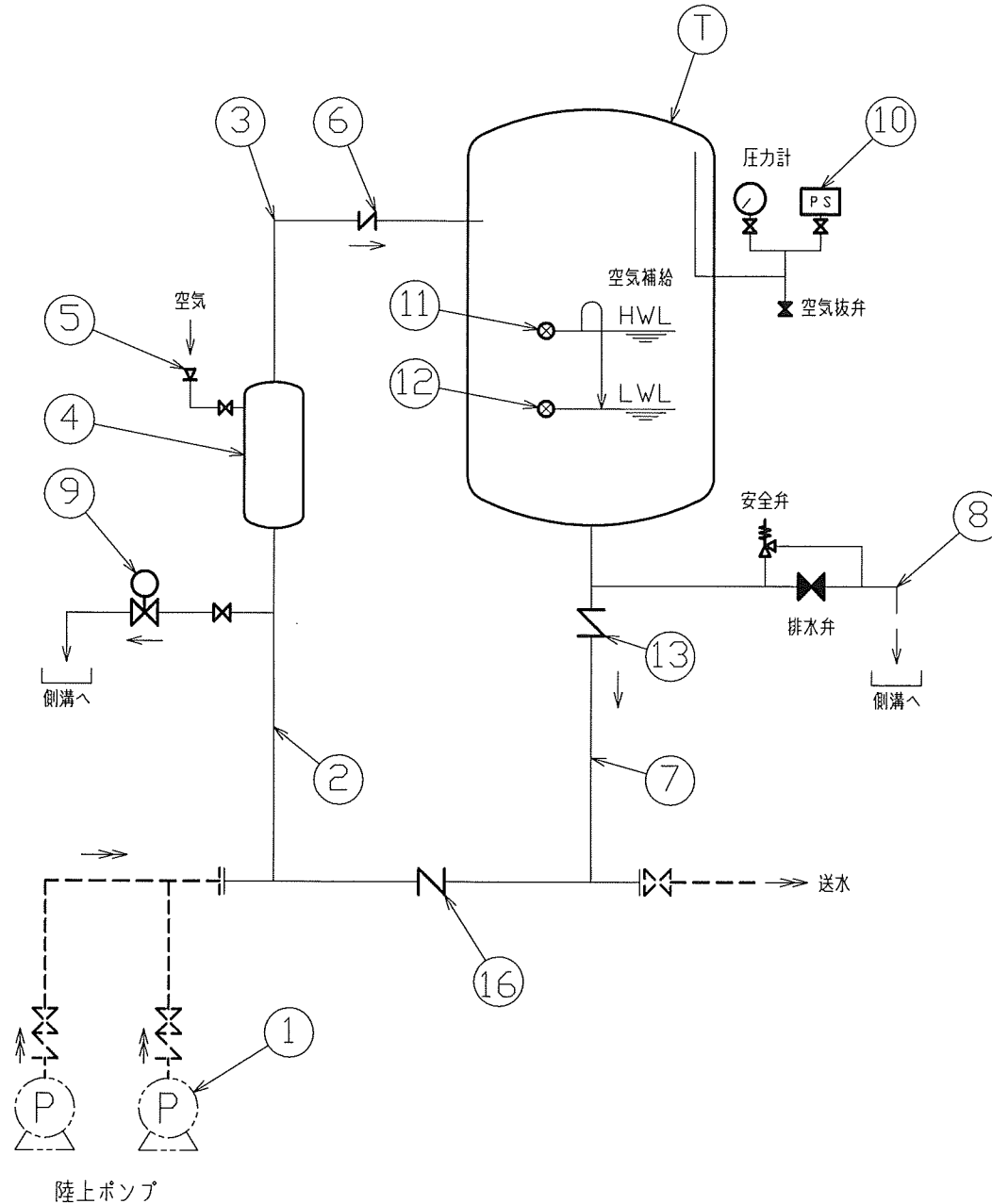
[特 長]

- ・TN 型の良い所と TA 型の良い所を合わせ持った型式で、タンク容積が TN 型 > TY 型 > TA 型の順になり、TN 型より小さなタンク容積ですみます。
- ・給水圧力が、ポンプ特性によって制御されますが、TA 型の様にポンプ締切に近い圧力になる様な事はなく、TN 型に近い圧力で制御されます。



～ 水と空気をつなぐ絆 ～

番号	名称
1	給水ポンプ
2	給水管
3	圧入管
4	空気補給槽
5	吸気弁
6	圧入逆止弁
7	送水口
8	排水管
9	排水電動弁
10	圧カスイッチ
11	電極(上限)
12	電極(下限)
13	送水逆止弁
16	給水逆止弁
T	圧カタンク



- ⊗ 常時開
- ◀ 常時閉
- 所掌外

TY型
圧カタンク系統図